修道学園（中・高）
同窓会会報誌

第92号

令和8年9月1日発行



修道

SHUDO

CONTENTS

01 退任の御挨拶　会長　深山　英樹（高12回）
就任の御挨拶　会長　迫谷　　章（高22回）
02 特集　修道学園創始300周年記念 同窓大会
03 同窓大会開催報告・御礼
学校見学会　三倉　　拓（高67回）
コンサート・トークセッション　佐々木啓人（高67回）
04 開催までの道のり・同窓大会　久保　　誠（高67回）
05 トークセッション「修道のこれまでとこれから」
出演者：山中　秀樹（高29回）・田原　俊典（校　長）・伊藤　真樹（高37回）
杉原　章郎（高40回）・西村　真二（高55回）・コンテくん（本校OB）
13 支部活動報告
関東支部　中本　伸也（高34回）
14 近畿支部　河本　浩二（高45回）
15 九修会　石本　俊亮（高27回）
東部修道会　三島　敦宏（高45回）
16 江能修友会　山下　　江（高23回）
修道医会　松本　正俊（高42回）
17 広島修道歯科医会　毛利　雅哉（高31回）
18 広島市修道会　長田　　開（高67回）
19 同窓生だより
修道十日会　卒業六十八周年同期会　池本　　章（高10回）
修道創始300周年と高校17回生卒業60周年を祝う
信原　憲治（高17回）
20 喜寿の祝宴　４月14日、長岡京市・錦水亭でタケノコ料理を満喫
木下　行就（高20回）
21 修道魂、レジリエンス（回復力）、両親・先輩への感謝
平井　伸治（高24回）
22 36期生還暦同窓会開催までの歩み　酒井　まろ（高36回）
23 修道学園同窓会連合会・修道学園（中・高）同窓会
事業報告並びに収支決算、収支予算
26 修道学園（中・高）同窓会　新役員
27 事務局だより

退任の御挨拶

修道学園（中・高）同窓会 会長　深山 英樹



同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から本同窓会に対し格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、この度任期満了により、修道学園（中・高）同窓会会長の職を退任することとなりました。

平成26年４月に前任の髙木一之会長からバトンを引き継いで以来、12年の長きにわたり、伝統ある本同窓会の舵取りという重責を全うできましたことは、皆様の温かい支えと、関係する全ての皆様の献身的なご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、在任中はまさに激動の日々であり、同時に多くの喜びに満ちた歳月でありました。とりわけ、昨年修道学園が「創始300周年」という偉大な節目を迎えるにあたり、同窓会として様々な事業を力強く支えることができたことは、私にとって生涯忘れることのできない大きな誇りです。

本館建替等工事に伴う募金活動におきましても、皆様から目標を大きく上回る多大なご寄付と熱い想いを寄せていただき、修道ならではの絆の深さと圧倒的な行動力を改めて肌で感じる瞬間となりました。

修道で培われた「世に有為な人材の育成」という建学の精神は、時代がどのように移り変わろうとも、私たちの胸の中で決して色褪せることはありません。

全国、そして世界で活躍する同窓生の存在こそが母校の財産であり、現役で学ぶ後輩たちの大きな道標となっています。

今回、私は会長の職を退きますが、一人の同窓生として、これからも母校の発展と、伝統ある同窓会のさらなる隆盛を末永く応援していく所存です。

結びになりますが、高校22回の迫谷章新会長のもと、新体制となる同窓会に対しまして、これまで以上の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご健康とご多幸、そして母校・修道学園の益々の発展を心より祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

長年にわたり、本当にありがとうございました。

就任の御挨拶

修道学園（中・高）同窓会 会長　迫谷 章



皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より同窓会活動ならびに母校の発展に対し、格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび、深山英樹会長の任期満了による退任の後を受け、令和８年４月１日から修道学園（中・高）同窓会の会長を拝命いたしました、高校22回の迫谷　章でございます。

歴史と伝統を誇り、国内外の各層でご活躍される多くの同窓生を擁する修道学園同窓会の会長として、その重責に身の引き締まる思いでございます。長きにわたり諸先輩方が築き上げてこられた本同窓会の伝統を受け継ぎながら会員相互の交流を一層深め、母校、そして同窓会のさらなる発展のため微力ながら尽力してまいる所存でございます。

改めまして、平成26年から約12年という長きにわたり、卓越したリーダーシップで同窓会を牽引してこられた深山前会長に、深く敬意と感謝を申し上げます。

特に、学園の歴史的節目となった「創始300周年」の記念事業を大成功へと導かれ、本館建替等工事をはじめとする母校の教育環境整備に多大なる足跡を残された功績は、私たち同窓生にとって誠に誇らしく、深く胸に刻まれるものでございます。

我が母校・修道は、2025年に創始300周年という偉大な節目を越え、今まさに「次の100年」への新たな一歩を踏み出したところですが、時代がどれほど変化しようとも、藩学「講学所」以来の伝統である「知徳併進」「世に有為な人材の育成」という修道の精神は、我々同窓生の確固たるアイデンティティであり、後輩たちへと受け継がれるべき普遍の価値であります。

これからの同窓会活動におきましては、深山前会長が築かれた強固な礎をしっかりと受け継ぎながら、全国、そして世界の同窓生相互の絆をさらに深め、母校で学ぶ現役の若き後輩たちを力強く支える組織でありたいと考えております。

世代や地域を超えたネットワークを活性化し、誰もが「修道に学んで良かった」と誇れる同窓会を目指してまいります。私も会長として全力で取り組んでまいりますので、皆様には、どうぞ変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

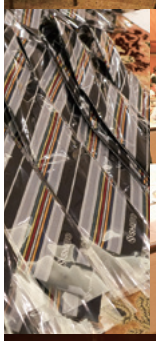
最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸、そして修道学園の益々の隆盛を心より祈念いたしまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。

特集

同窓大会

修道学園創始300周年記念











プログラム

10:00～12:00	学校見学会 @修道中学校・修道高等学校	〔見学場所〕新本館（記念品室・図書館）・新渡り廊下・新敬道館・コンビニ 他
15:00～15:45	300周年記念コンサート @広島県民文化センター	修道中学校・修道高等学校スクールバンド班による演奏会
16:15～17:30	300周年記念トークセッション @広島県民文化センター	テーマ：『修道のこれまでとこれから』
18:30～20:30	同窓大会 @リーガロイヤルホテル広島4階ロイヤルホール	



同窓大会開催報告・御礼

修道学園創始３００周年特別企画

●学校見学会

三倉　拓（高67回）

令和７年９月６日（土）、修道学園（中・高）同窓大会の３００周年特別企画として学校見学会を実施しました。修道学園創始３００周年という記念すべき年の同窓大会を開催するにあたり、67回生の世話人一同、母校への愛と同窓生の絆を再確認し、修道の未来につなげていくことのできるイベントの準備を進めてまいりました。

本見学会では、修道学園創始３００周年事業として建て替えられた本館を中心に、新しくなった渡り廊下や生徒に大人気の校内コンビニ「ＹショップｓｈüＤＯ店」をご覧いただきました。当日は日差しが強く暑い中でしたが、当初の予想を上回る２００名以上の同窓生の皆さまにご参加いただき、世話人一同心より感謝申し上げます。当時の仲間との再会を喜び、新しい校舎を歩きながら現役時代を笑顔で懐かしむ皆さまのご様子から、母校への愛と同窓生の絆を改めて実感できる企画になったのではないかと存じます。

最後になりましたが、見学会にご参加いただいた皆さま、見学会開催にあたりご協力いただいた学校関係者の皆さま、ならびに当日スタッフとしてお手伝いいただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



修道学園創始３００周年特別企画

●コンサート
●トークセッション

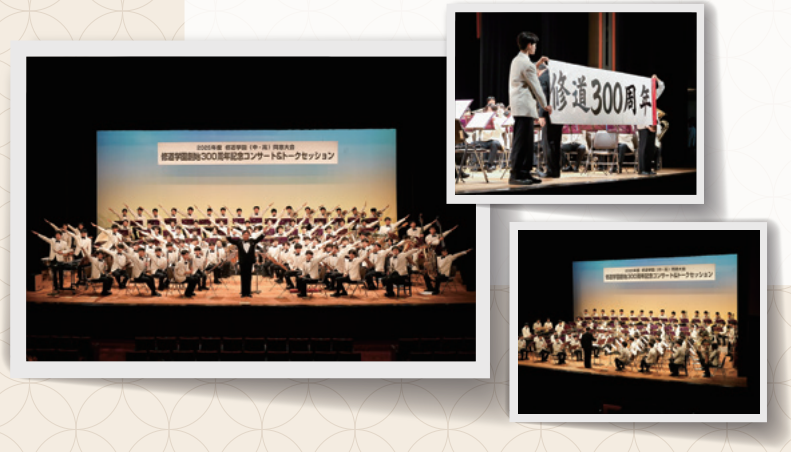
佐々木　啓人（高67回）

修道学園創始３００周年記念同窓大会当日、広島県民文化センターにおいて、修道中学校・修道高等学校スクールバンド班による記念コンサートと各界で活躍されている修道高等学校卒業生によるトークセッションが開催されました。

前半のスクールバンド班によるコンサートでは、迫力ある演奏と華やかな音色が会場を包み込みました。創始３００周年という大きな節目にふさわしい楽曲の数々は、会場全体を魅了し、世代を超えて集った同窓生に深い感動を届けました。現役生が奏でる音楽は、３００年にわたり受け継がれてきた修道学園の伝統と誇り、そして未来へ向かう希望を感じることができ、美しいハーモニーが会場を一つにするひとときとなりました。

後半には、「修道のこれまでとこれから」をテーマとしたトークセッションが行われました。世代や活躍する分野の異なる卒業生と、修道中学校・修道高等学校校長 田原俊典先生が登壇し、それぞれの修道での学びや恩師との思い出、人とのつながりについて語り合っていただきました。卒業生の皆様からは、在学中に印象に残った出来事や、社会に出てから改めて実感した修道で学んだことの価値などが紹介され、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。また、時代が変わっても受け継がれている「修道らしさ」や母校への思いを改めて共有する貴重な機会となりました。

２時間を超える記念企画には、多くの同窓生や関係者の皆様にご参加いただき、３００年という歴史を振り返るとともに、修道学園の未来へ想いをつなぐ有意義な時間となりました。世代を超えて母校への愛着を分かち合うことができた本企画の開催にあたり、ご参加・ご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



修道学園創始３００周年特別企画

●開催までの道のり ●同窓大会

久保　誠（高67回）

毎年9月の第1土曜日に開催されている「修道学園（中・高）同窓大会」。まさか私が世話人代表として動く事になるとは夢にも思っておらず、同級生から話をもらった時には大いに戸惑いました。

病気を患い広島へ帰ってきたばかりであったし、在学中も学年を代表できるような生徒とはとても言えるようなものでも無く、他の同級生にとても申し訳なく思ったものです。

また修道学園創始３００周年となる記念の年ということで、それに相応しい物とせねばならないという重圧も重くのしかかりました。

幸いな事に世話人メンバーの内3人が修道中・高に勤務しているという事や、3人代表制による分業といった試みにも助けられ、何とか動きだすことができました。

私はチケットの販売や協賛広告の募集を主に担当する事になりました。３００周年に相応しい大会とするためにも協賛広告集めは非常に重要なものでした。

本来であればアポイントを取り、お伺いしてお願いさせて頂くことが筋である事は重々承知ではありますが、郵送やメールでのお願いをせざるを得ない状況です。

有給を5日取得し土曜日を含め6日間で90件ほどご挨拶に伺わせていただきました。アポイントも取らず突然伺った事、またお伺いすることが出来なかった広告主の方々にはご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。

皆様の多大なるご協力もあり５００万円を超える協賛金額を集めることが出来ました。本当にありがとうございました。

チケットの販売も当日の集客・賑わいに直結するものです。

２０２４年10月開催の東部修道会総会を皮切りに広島修道歯科医会、九修会、近畿支部、広島市修道会、江能修友会、関東支部、修道医会（開催順）と全支部総会に出席させていただき、大会の宣伝とチケットの販売をさせていただきました。

また年末年始に行われる各学年の同期会にもお邪魔させていただきました。

皆様、ご協力いただきありがとうございました。

事前販売や過年度の状況を踏まえ当日の集客は５００名から５５０名程度と見込んで準備を進めてきましたが、いざ蓋を開けてみると７００名を超える多くの同窓生の方にご来場いただきました。ご来場いただきました同窓生の皆様、ありがとうございました。



また来場記念品のネクタイの不足や食事量の少なさ、学年色別の配席割振、オペレーション等でご不便、ご迷惑をおかけしました事お詫び申し上げます。

少しだけ、同窓大会中の話に触れさせていただきますと、

●フリーアナウンサー　本名正憲様（高33回）による名司会

●名誉会長　森本弘道様（高7回）のご発声による乾杯

●コロナ禍前大人気であった食堂コーナーの復活（前述したよう、すぐに無くなってしまいましたが…）

●カープコラボグッズや学年色別ネクタイの販売

●同窓生全員で祝う３００周年バースデーケーキ（林理事長、田原校長、深山会長、ご協力くださりありがとうございました）

●熊野眞様（高19回）をリーダーとした全員で輪になる校歌斉唱（今回は1つの輪に収まりきらず、中にも小さな輪ができました）

●元校長　畠眞實先生（高7回）による万歳三唱

などなど、本当に多くの方に支えられ、会が無事終了いたしました。

この文章を２０２６年7月に書いていますが、同窓大会から10ヶ月も経ったのかと信じられない気持ちです。

今年の同窓大会が素晴らしいものとなるよう68回の後輩が今まさに動いてくれています。

次の１００年に向けて同窓大会が末長く続いていけるよう今後とも同窓生皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



修道学園
創始300年記念

トークセッション

「修道のこれまでとこれから」

日　時　2025年9月6日（土）16:15～17:30　　場　所　広島県民文化センター



●ファシリテーター
山中 秀樹 様 高校29回
フリーアナウンサー



田原 俊典 先生
修道中学校・修道高等学校 校長



伊藤 真樹 様 高校37回
大成建設株式会社 設計担当部長
広島サッカースタジアム設計者



杉原 章郎 様 高校40回
株式会社ぐるなび 代表取締役社長



西村 真二 様 高校55回
お笑い芸人 コットン



コンテくん 様 本校OB
漫画『男子校の生態』著者

出演者紹介

山中（高29）　これから1時間にわたって「修道のこれまでとこれから」というテーマでトークセッションを行います。メンバーをご覧いただければ分かる通り、お笑い芸人もいますので、堅苦しい会にはならないと思っています。

西村（高55）　皆さん、楽しくいきましょう！【会場：笑】

山中（高29）　司会進行を務めます、修道29回卒のフリーアナウンサー、山中秀樹です。修道から早稲田大学へ進み、フジテレビで25年勤めた後、現在はタイタンという事務所でフリーとして活動しています。卒業から約半世紀が経ち、記憶が薄れている部分もありますが、皆さんとお話ししながら思い出していければと思います。

本日の出演者をご紹介します。まず、修道中学校・修道高等学校の田原俊典校長先生です。続いて、そのお隣は高校37回卒で大成建設の設計担当部長で広島サッカースタジアムの設計者である伊藤真樹さん。高校40回卒で株式会社ぐるなび代表取締役社長の杉原章郎さん。高校55回卒でお笑い芸人コットンの西村真二さん。最後に、本校OBで、漫画『男子校の生態』がヒットし、CMプランナーとしても活躍されているコンテくんです。

山中（高29）　本日ご出演の皆さんをもう少し詳しく、一人ずつご紹介します。



伊藤さんはエディオンピースウイング広島の設計者ですが、あのような大きな建物を完成させるには、通常どれくらいの期間がかかるのでしょうか。

伊藤（高37）　通常であれば設計に1年半、工期に2～3年かかるところを、約半分の期間で進めました。「やらされた」というのが正直なところかもしれません。現在の働き方改革の中では到底無理なスケジュールでしたが、設計を8ヶ月、工事を22ヶ月、合計30ヶ月で完成させました。

山中（高29）　サッカーの試合がない日はどのように活用されているのですか。

伊藤（高37）　「街なかに作る」というテーマがあり、試合以外の時も市民に開放する仕掛けをたくさん作っています。隣接する公園と一体となって日常的に楽しんでいただけるスタジアムになっており、年間130万人ほどの方にお越しいただいています。

田原校長　伊藤さんのお力で、本校のサッカー班が、完成前のフィールドに入れていただきました。生徒がとても喜んでおり、本当にありがとうございました。

【会場：拍手】

伊藤（高37）　おそらく一番最初に入った高校生だと思います。後輩にとって貴重な経験になれば幸いです。

山中（高29）　続いて杉原さんですが、楽天グループの創立メンバーとして、三木谷さんと共に歩んでこられました。大学時代からインターネットの時代が来ると確信していたのですか。

杉原（高40）　いえ、全くそんなことはありませんでした。修道で自由に過ごしすぎて2年浪人し、慶應義塾大学に入りました。三木谷さんはとても良い兄貴分のような存在です。楽天では社内公用語が英語になりましたが、私は当初TOEICが300点ほどしかなく、一番苦労しました。しかし、修道で培った「自由に何でも取り組む」精神で、2年かけて800点を超えました。

山中（高29）　現在はぐるなびの社長を務められていますが、ネットの世界は変化が激しいですね。

杉原（高40）　ネットの世界は5年から7年で大きく変わります。今はAIによる転換期で、1年後にはさらに凄いことになっているでしょう。将来的にはAIが「今日は何を食べたらいいか」を個人の好みに合わせて提案してくれるような世界がすぐそこまで来ています。

山中（高29）　続いて、お笑い芸人コットンの西村さんは広島ホームテレビのアナウンサーを3年で辞めて芸人になられました。周囲の反対もあったのではないですか。

西村（高55）　山中先輩の前で言うのは憚られるのですが、誰かを立てるアナウンサーという仕事が、自分にはあまり向いていなかったのかもしれません。辞めるときは、会ったことない取締役の方などにも引き止められましたが、ただ一人、止めなかったのが、今でも信頼しているディレクターさんです。その後、東京NSC17期生となり、今はコットンとして活動しています。NHK新人お笑い大賞2019年優勝、キングオブコント2022年準優勝など、芸人になって良かったと思っています。

山中（高29）　コンテくんは、なぜ『男子校の生態』を描こうと思ったのですか。

コンテくん　コロナ禍で広告の仕事が急になくなって暇になったので、漫画の学校に通い始めました。「1日1ページ描いてください」という課題で何を描こうかと考えたとき、男子校ネタを勧められました。それで最初に描いた『男兄弟しかいない同級生が、姉のいる同級生に「姉ちゃんの下着が干してなんとも思わないのか?」と聞いちゃう話』がいきなりバズって、次に『男子校の姫ポジになってしまった話』もバズって、『田原校長の挨拶が極端に短い話』もバズって、そのまま勢いで描き続けました。

山中（高29）　田原校長の挨拶ってどれくらい短いんですか。

コンテくん　壇上に上がって「今日はみんなお疲れ様。以上。」みたいな感じで。

山中（高29）　いくらなんでも、短すぎませんか（笑）。

田原校長　もっと短いのがありますよ。コロナ禍の始業式で放送室からやった時は「おはよう。今日は始業式。いいか、お前たちを本当に見てくれているのは担任だ。今から担任が10分間ありがたい



話をするから聞け！」と言って終わりました。

西村（高55）　他力本願！

田原校長　担任の先生から、すごいクレームが来ました。【会場：笑】

修道の思い出話

山中（高29）　修道の思い出といえば、カープの勝敗で先生のテンションが変わるのはあるあるですよね。

西村（高55）　世界史の阿部 秀眞 先生が顕著でしたね。カープが勝った翌日はもう「おはよう！」って上機嫌で入ってくるんですよ。でも負けた日は授業中に「ワシントン条約がここで……昨日の継投がダメだったんだよ！」って急にキレ始めて。【会場：笑】

山中（高29）　負けて次の日の悔しいテンションが見ていたら面白いじゃん（笑）。例えば、カープが5連敗するとどうなるのですか。

西村（高55）　そうなんですよ。負ければ負けるほど「ちょっと自習！」ってなって。でも、めちゃくちゃ好きでしたよ、阿部先生のこと。

山中（高29）　アリですか、校長。

田原校長　全然アリですよ。気分が変わる先生はたくさんいます。教員があだから、生徒が立派になるんですよ。【会場：笑】

山中（高29）　なるほど（笑）。じゃあ僕の話をしますと、今年はカープ初優勝から50年なんですよ。75年の時、僕が高校2年で、銀山町の電停のそばに住んでいて。10月15日に優勝の瞬間をテレビで見て、すぐに福屋・天満屋近くの祝賀会場に向かったんです。そしたら振る舞い酒が出て。高校2年だから飲んだことないし、飲む気もなかったんですけど、どんどん前に押し出されて一杯もらっちゃって。飲んだか飲んでいないかよくわからない状態で…

　次の日、学校に行ったら先生から「お前、昨日のニュースに映っとったで！」って。昼休みに担任の内 惇 先生に職員室に呼ばれて「お前、昨日どこおった？」から始まって「お前が飲んどるシーンがRCCで映っとったんじゃ！ええか、高校生の飲酒は停学処分。停学処分で、お前…」って言われたんですよ。そこまでは先生、ずっと怖い顔してたんですけど、最後にニヤッと笑って一言―「ほいじゃがの、カープの初優勝に免じて許してやる」と。【会場：拍手】



　人生で最初にテレビに映ったのが、高校2年生でカープ初優勝の祝賀会場でコップ酒を飲んでるシーンだったというね（笑）。50年経った今でも鮮明に覚えてますよ。

山中（高29）　そういうのありませんか、皆さんも。伊藤さんはどうでしたか。

伊藤（高37）　思い出といえば、早弁ですね。昼休みをフルにサッカーに使いたいから、1限目からちょっとずつ弁当を食べ進めていって、4限目が終わる頃には完食してる状態を目指す。

山中（高29）　計画的だ（笑）。

伊藤（高37）　で、昼休みはもうフルパワーでサッカーですよ。あの狭い校庭で10試合くらいが同時進行するんですよ。

西村（高55）　カオスすぎる（笑）。

伊藤（高37）　よくあの中でサッカーができたなと。ある意味特殊訓練ですよね。授業はあまり聞かない生徒だったので、放課後にフル照準を合わせて街へ繰り出す。移動手段はチャリ。今でも広島に帰ると自転車乗りたくなりますよ。

田原校長　今も変わらず、昼休みのグラウンドは、雨が降ろうが子どもだらけです。ただ、数年前にバットで頭を叩いて怪我をした生徒がいて、それ以来硬いボールとバットは禁止にして、今はコンビニで柔らかいプラバットとボールを売っています。

西村（高55）　最高の高校（笑）！

山中（高29）　杉原さんはどうでしたか。

杉原（高40）　購買のパン争奪戦が熾烈でして。渡り廊下の先の体育館下の購買に向かうのに、高校生に先を越されないよう、4限目のチャイムが鳴る前から後ろの席の生徒が勝手にいなくなっていくんですよ。代表でパンを買いに行くという暗黙のルールがあって。

山中（高29）　先生に怒られないのですか。

杉原（高40）　それを怒らないのが修道のいいところですよ（笑）。

西村（高55）　先生が自主的に3分前に授業を終えてくれるのも修道のいいところですよね。

田原校長　一応「チャイム・トゥ・チャイム」と注意はしているんですが、守る先生はあまりいません。今でもそう（笑）。

　それでね、昼休み食堂ですごく並ぶんですよ。1度、PTA委員会で保護者の方から「高校生が中学生の列に割り込むのは許してるんですか」と指摘されたことがあり、「お母さん、世の中に出たら不条理なことばかりなんです。不条理こそ人生です」とお答えしました。【会場：拍手】



山中（高29）　西村さんはどうでしたか。

西村（高55）　僕は高校から入って野球部だったんですけど、先輩方の頃は強かったと思うのですが、自分らの頃は本当に弱小すぎて。入部初日のキャッチボールで、隣のレーンから飛んできた硬球が太ももにバーンって当たって。「ごめーん」って言ったそいつ、高校から野球を始めたばかりで。その瞬間に「あ、甲子園は無理だな」と悟りました。

そんな中で、ピッチャーとして背番号1を背負っていたんですけど、ショートがエラーして、サードもエラーする。でもその直後に「よっしゃピッチャー、打たしていこう！」って言うんですよ。打たせたらエラーするやん（笑）っていう。

【会場：笑】

田原先生、今の野球班は強いですか。

田原校長　まぁ、その頃よりは強いですよ。

西村（高55）　今は環境も良くなったらしいですが、当時は環境が劣悪すぎて、グラウンドもボコボコで、イレギュラーの対応は全員できるけど、まっすぐなゴロは取れないという謎の特技が身について。

【会場：笑】

山中（高29）　コンテくんはスクールバンド班だったんですよね。

コンテくん　一般的に吹奏楽部なんですが、うちはスクールバンド班と呼ばれています。中1から高3の秋までずっと吹いていました。

山中（高29）　今日は後輩の皆さんが演奏されていましたが、聴かれましたか。

コンテくん　舞台袖から、漫画の素材になるなと写真を撮りながら見ていました。吹奏楽の漫画を書くと、吹奏楽界隈からも喜んでもらえまして。今日の演奏は、夏の吹奏楽コンクールを終え高3が引退した後、初めての本番だったのですが、すごく新しい男子校のサウンドになっていて、来年も期待できるなぁと聴いておりました。

伊藤（高37）　実は私もスクールバンド班でした。

山中（高29）　え、そうだったんですか！

伊藤（高37）　ただ、当時は年に5回しか練習しない弱小で。文化祭、体育祭、野球の応援、入学式、卒業式の5回だけ。あとは部室でうとうとしているか、楽器



そっちのけで過ごしているかで。

コンテくん　クラリネットで野球をしていたと聞いたことが……。

伊藤（高37）　そうそう（笑）。

山中（高29）　最低だな（笑）。

伊藤（高37）　さらにですね、ティンパニーの内部が「大人の参考書の隠し場所」になっていたんですよ。チューニング用のネジで開閉できる構造になってて、そこに雑誌を隠して部員同士でやり取りして。

山中（高29）　そこまで開ける先生はいないわけか（笑）。

西村（高55）　ロッカーはチェックされてもティンパニーは開けないですよね（笑）。

山中（高29）　先生の思い出話もいろいろありますよね。杉原さんどうでしたか。

杉原（高40）　父も30期上の修道生なのですが、父も私も習った先生で、数学の川野 観治 先生がいらっしゃって。

【会場：笑】

伊藤（高37）　修道精神注入棒ですよね。

杉原（高40）　全然悪いことをしていないんですが、いつも精神注入いただいて「ガラ何周！」って言われて。

山中（高29）　懐かしい、「ガラ1」。ガラス工場1周ね。

杉原（高40）　私は「ガラ3」でしたね。まぁ、授業がなくなるので、いいですけど（笑）。

山中（高29）　さすがに西村さんやコンテくんの世代になると、そういうのも、もうなかったですよね。

西村（高55）　僕が55回の41歳で、自分たちが愛の鞭ラスト世代だと思います。先生が僕のことを小突く、それで周りが笑っている世代でした。「西村、殴られてやんの」「痛い！先生なにするんです



か！」が成立してた。それはそれが楽しかったですよね。

山中（高29）　コンテくんの漫画には、先生にツッコミを入れる内容がありましたよね。

コンテくん　ガキ大将的な子たちが、先生たちにツッコミを入れて、それで会話が盛り上がって、ちゃんと勉強のこともツッコミを入れてくれるので、聞きたかったことを聞いてくれて助かるみたいな、すごく楽しかったです。

山中（高29）　僕の頃は、代数の片山顕親先生は強烈でしたよ。【会場：笑】

山中（高29）　わかる人いるんだね（笑）。もうむちゃくちゃな髪型で、分厚い眼鏡をかけて、白のズック靴でボロボロの格好で、バーンとドアを開けて、ダンダンダンって入ってきて。同級生とのやり取りが毎回の見どころで、「おい！ノートどうしたんや！」「忘れたんで机に書いてます」「馬鹿か！」っていうのが授業のルーティンで、面白かったよ（笑）。



西村（高55）　修道の先生の返し、面白いですよね（笑）。ここにいらっしゃる田原先生の現代文の授業中に、よりによってドラゴンクエストのメロディが携帯の着メロとして鳴り響いた瞬間、間髪入れずに「誰や、冒険始めるやつは」って。

山中（高29）　うまい！

西村（高55）　「誰や電源切っとらんやつは」でも「誰や携帯持ってきとるやつは」でもなくて、そう返したのが田原先生でした。あの返しはダントツで面白かった。

山中（高29）　今はスマホはどうしているんですか。

田原校長　基本はロッカーに収納させてますが、辞書代わりに検索する場合は条件付きで認めています。

修道でよかった話

山中（高29）　僕なんか卒業してもう48年ですけど、修道卒でよかったなと思うことはありますか。

伊藤（高37）　そうですね。我々の世代ってバブル世代なんで、89年に仕事を始めてもう30年くらい、本当に仕事しかやってきてない世代なんですよ。それが一段落して、最近まあ、当時は携帯もSNSもなかったから、みんな繋がり始めたのがここ最近で。そうするとですね、なんか郷土愛というか修道愛みたいなものが芽生えて、頻繁に会うようになってきたりして。あれだけ広島から出たかったのに、頻繁に帰ってくるようになって。

山中（高29）　それ、すごく分かります。僕もそうですもん。

伊藤（高37）　そうやって見ると、みんなたくましく第一線でやってるんですよ。それが必ずしも学校の成績に比例してないところが、修道のやっぱりすごいところだなと感じますね。たくましさというか、そこを最近ものすごく感じています。

山中（高29）　私は29回卒なんですけど、1つ上の28回が怖くてね。【会場：笑】あんな怖い……みたいなの5人くらいいるんですよ。修道なの本当に？みたいな（笑）。名前をあげて後で怒られたら嫌だから挙げないけど。

伊藤（高37）　怖いですね（笑）。

山中（高29）　杉原さんはどうですか。

杉原（高40）　良かったなと思うのは本当に、何も与えてくれなかったから何でも自分で考えてやらなきゃいけなかった、それが今の人生にとても生きているなとすごく感じます。

山中（高29）　ちょっと待って。「何も与えてくれなかった」って、これはどういう意味ですか。

杉原（高40）　いや、自由だったってことですよ（笑）。すいません。



西村（高55）　その当時、田原先生いらっしゃらなかったですもんね。

杉原（高40）　田原先生、私ぐらいの頃からいらっしゃいましたよ。

田原校長　そうよね。

西村（高55）　え、田原先生、話が違うじゃないですか！【会場：笑】

山中（高29）　西村さんはどうですか。

西村（高55）　やっぱりこういう繋がりみたいなものって修道のいいところじゃないですかね。なくないですか、こんなに。「僕も修道です、55回の黄色バッジです」ってなったら、例えば50回の先輩が「おっ、こいつ5個下か」ってなって、急に先輩風を吹かしてくる。僕も初対面のコンテく

んに「あ、こいつ何個下かな」ってなる。一気に絆ができるこの感じ、修道グループに入るみたいな、この気持ちよさが僕はめちゃくちゃ好きで。

田原校長　西村、大学行っても仲いいよな。

西村（高55）　そうなんですよ。

田原校長　実はうちの娘が、東京で西村くんと同じ大学で同級生だったんですよ。4月に入ってすぐ、出張のついでに会いに行ったら、西村を先頭にうちの娘を5、6人が囲んでいて、「先生、娘さんは我々が守ります」って。一番危ないのがお前なんだけどな、と思いながら（笑）。

西村（高55）　何がですか（笑）！

田原校長　もちろん、ありがたかったですよ。

山中（高29）　バッジのブランド力もありますよね。僕なんかロケ先で「先輩、赤バッジです」って声をかけられることが何度もあって。こないだも吉川晃司さんから「山中先輩、私、赤バッジです。先輩は白バッジですよね」ってお声がけいただいて。周りのスタッフには何の会話なの？ってなるけど（笑）。「何バッジです！」って言われた瞬間、修道だなってなるのが良いですよね。

杉原（高40）　赤とか白はいいですけど、僕は…うんこバッジだったんで。

西村（高55）　え、茶色ですか。

杉原（高40）　いや、金。金茶です。

山中（高29）　私の頃も、うんこバッジって言われてましたね（笑）。

西村（高55）　いやでも本当に、修道卒の方が慶應卒よりブランドがあると思ってます、僕は。

山中（高29）　で、こないだね、週刊誌のカラーグラビアで「おすすめの一品」として、「桐葉菓」を紹介したんですよ。そしたら「やまだ屋」の中村靖富満さん（高30回）という方から、事務所を通して御菓子と御礼状が来て「山中先輩、僕も修道です」って書いてあって。【会場：拍手】

西村（高55）　今日、いらっしゃいますか？【会場：中村様（高30回）ご起立】



山中（高29）　ああ、こういう繋がりもあるんだなと。

西村（高55）　僕も今度「桐葉菓」おすすめしますので、よろしくお願いいたします！【会場：笑】

山中（高29）　ロケ先でも、御礼状でも、修道のネットワークがどこかで繋がってくる。そういうのを感じましたね。卒業してからも続くこの繋がりが、修道の一番の財産じゃないかと思います。

修道の現在と未来

山中（高29）　修道に着任された経緯を教えてください。

田原校長　家内の事情で広島に戻ることになり、いくつかの学校から声をかけていただきましたが、「なんとも気高く、香りのいい学校」だと思って、即決めました。【会場：笑】

山中（高29）　気高い香りがいいのは、ただ汗臭いだけだと……（笑）。

実際、第一印象でそれで決めて、教鞭をとって実際に生徒さんと相対すると思うのですが、この学校はここがいいな、あるいはここは直した方がいいな、みたいなことありましたか。

田原校長　最初の授業で生徒の地頭の良さに感動しました。テスト勉強で鍛えた知識ではなく、私の質問に対して答える内容が本当に深く「やはりここはすごい進学校だ」と思いました。

山中（高29）　この間、毎日新聞の夕刊に、弁護士の弘中惇一郎さん（高16回）が修道に触れていたんです。あの人は東京から広島へ、お父様の仕事の関係で転勤して修道に入られたらしく「東京の学校はものすごく緩やかだったんですけど、修道はとても厳しかった」とお書きになっていました。話は変わりますが、少子化と倍率の低下についてはどう捉えていますか。

田原校長　2040年問題は深刻です。18歳人口が激減して大学の充足率が有名大学含め7割になる。その3年前には高校の受験生（15歳人口）も大幅に減る。広島市の私学の入学者定員は合計7000人ですが、2037年頃には今の生徒より7000人減る計



算になる。つまり公立がそのままあるなら私学は一校も要らない、という数字です。だから今のうちに学校をブランディングして、強みを言語化して外に発信することが急務です。

山中（高29） 男子校は２０００年に全国２１８校あったのが今は92校まで減っています。

田原校長 ２０２５年の速報ではもう80校を切っているくらいです。「男子校は絶滅危惧種」と講演でも言っています。でもだからこそ価値がある。男子と女子では脳の構造も教え方も違う。共学が悪いとは言いません。でも男子校にも女子校にもそれぞれの価値がある。私が校長をやる限り、男子校は変えません。すでに２０４０年に向けた学校ビジョンを全教員に渡していて「男子校のまま、学校規模も今のまま」と明記しています。

山中（高29） これは授業で教えるべきではないことかもしれませんが、今のネット社会のネットリテラシーということについて、学校にも是非取り組んでいただきたい部分があります。

スマイリーキクチさんが１９９９年の事件の犯人だというデマが2ちゃんねるで拡散して、Wikipediaにまで書かれて、解決まで10年かかりました。匿名に見えてもＩＰアドレスは追跡できる。ネット上でひどいことを書いて訴えられたら全部わかります。

それから銀行口座の売買。「使っていない口座を5万円で買う」と言われて売ると、その口座は犯罪に使われます。発覚すれば口座は凍結され、他の口座も全部凍結されて、一生銀行口座が作れなくなる。住宅ローンもクレジットカードも作れない生活になります。たかだか5万円で人生が狭くなる。絶対にやってはいけません。

若いと、人生の落とし穴が分からなかったりする。授業ではなくても、そういう部分がないように教えて欲しいなと思います。

田原校長 「デジタルシチズンシップ」ネット社会での責任ある行動をとる姿勢」の重要性は、本校でも様々な場面で注意しています。今日の話はとてもわかりやすかったので、改めて生徒にも伝えます。ぜひ、講演にも来てください。

【会場：拍手】



後輩へのメッセージ

山中（高29） 自分の修道人生を踏まえて、後輩に望むこと、伝えたいことは何でしょう。

伊藤（高37） そうですね。私も学校の成績は下から数えた方が早かったんですが、修道に入って生きるためのたくましさを身につけさせてもらいました。一番伝えたいのは、仲間を大切にしてほしいということです。学校にいる間の濃密な生活を共にした友達って、本当に一生の友達になるんですよ。3年なり6年なりという期間ですけど、その中で好きなことを好きなだけやって、仲間を大事にしてもらえれば、それで十分だと思います。



杉原（高40） 修道って、自由と責任を自然に身につけさせてくれる学校だったなと、今でも強く感じています。何も与えてくれなかったから、何でも自分で考えてやらなきゃいけなかった。それが今の仕事に生きています。

ネットの世界で長く生きてきて思うのは、匿名に見えても責任は消えないということ。個人の発信力が大手メディアと同じくらいになった今、その感覚を持ってネットを使ってほしい。修道で自然と身につくそういう感覚を大切にしながら、中高の生活を思い切り謳歌してください。



西村（高55） 僕なんかが申し上げるのはあれなんですけど、修道高校って、何をするにも全ての最上位互換だと僕は思っています。勉強も、スポーツも、今は本当に環境が整っていますよね。校長先生の前では言いにくいですけど、勉強だけやれとは言いません。ただ、全部を本気でやったら、その思い出が色濃く残る3年間、6年間になると思うんです。そして何より、修道の友達って一生の友達になる。今でも慶應の友達より修道の友達と遊ぶ方が全然多いですし。僕、今東京に住んでいますけど、もし息子ができたら修道に通わせたい。息子だけ広島に住まわせてでも、修道に行かせたいくらいいい学校だと思っているので。全力で思い出を作ってください。



コンテくん 『男子校の生態』という漫画を描いていて気づいたことがあって、修道って、ちょうどいいエンタメ感を生み出している学校なんですよ。他の男子校の文化祭を見に行ったら、閉会式だけで2時間あったりして。でも修道は、生徒会長がパッとまとめて、先生がペッと面白いことを言って、校長先生が短く締める。あのテンポ感が修道の強みだと漫画を描いていて気づきました。

先生の授業も、今日の皆さんの話も、エンタメに富んでいた。修道で3年間、6年間身につけたエンタメの力は、社会に出ても絶対に役立ちます。是非それを磨いてほしいです。

山中（高29） 僕なんか卒業してもう48年ですけど、今日こうして皆さんの話を聞いていて、やっぱりとにかく楽しい学校だなと改めて思いました。思い切り楽しんでほしいです。

修道魂と不易流行

山中（高29） 僕は、偏差値が高い学校だからって意味じゃなくて「修道が名門ですね」って言われるのがすごく嬉しいです。最後に、田原校長先生に、名門の名門と呼ばれるゆえんというものを先生がどうお考えになっているのか、お話いただけますでしょうか。

田原校長 修道が今日あるのは、私が何かしたからではなく修道の300年の歴史の中で卒業生の皆さんが積み上げてきた力のお陰です。それを同窓生の方々は「修道魂」と呼んでいる。私は修道出身ではないからこそ、客観的にその強さがよくわかります。

将来に向け、これからも学校改革は続けますが「修道らしさ」を絶対に損なわない。不易流行―変えてはならない本質を守りながら、新しさも取り入れるという考えのもと、「これが修道だ」というものを絶対に崩さないようにします。

今日の皆さんの反応、ステージでの盛り上がり、すべてを帰って教員と生徒に伝えます。それが今日の私の使命です。今日は本当にありがとうございました。



山中（高29） こちらこそありがとうございました。というわけで、修道学園創始300年記念トークセッション、これをもちましてお開きにいたします。次回400年でお会いしましょう！ありがとうございました！

2026年 関東支部のつどい開催報告

関東支部
中本　伸也（高34回）

2026年7月1日（水）東京ドームホテルにて、「関東支部のつどい」が盛大に開催されました。今年のテーマは「**修道学園創始300年＋次の100年の最初の一歩（過去と未来を語りましょう）**」です。修道の歴史は続きます、次の100年の第一歩としての交流を深める場となりました。

来賓には、林正夫修道学園理事長、天野成幸修道学園専務理事、迫谷章同窓会会長、田原俊典中学高校校長、太田英之近畿支部会長をお迎えしました。今年も、約170名の同窓生が集まりました。これは、多くの皆様のご支援のもと、幹事学年である高校34回生・44回生を中心とした4の回の皆々様で準備を進めることができた成果であり、深く感謝致します。

午後6時より始まった講演会では、元東京地検公安部に所属し、オウム真理教関連事件の捜査等を担当された弁護士　落合洋司さん（高34回）に「刑事司法の過去、現在と今後―36年の実務経験から」のテーマで御講演頂きたいへん盛況となりました。司会は宮本知紘さん（高63回）に務めていただきました。

午後7時からは、関東支部の中本伸也実行委員長（高34回）の開会宣言により、総会・懇親会がスタート。会計報告、吉田多孝会長（高29回）の開会挨拶に続き、来賓紹介、林正夫理事長の御挨拶、迫谷章同窓会会長の御挨拶、そして田原俊典校長の乾杯の御発声で懇親会が始まりました。

ご来賓も含めた各世代が均等にグループ分けされ、世代を超えた交流の場となり、今回のテーマである「**過去と未来を語りましょう**」に沿った同窓大会になりました。


講演「刑事司法の過去、現在と今後-36年の実務経験から」

今年の会場を盛り上げたのは、様々なアミューズメントとなりました。中本伸也実行委員長（高34回）の紹介により田中邦和（サックス）さんと佐藤芳明（アコーディオン）さんに「ジャズミニコンサート」を御演奏頂き、音楽を楽しみながらのご歓談が各テーブルではずみました。

ジャズ演奏の後は、布崎嘉樹さん（高44回）御紹介のマジシャン小梅さんに各テーブルをまわりながらテーブルマジックを御披露頂き懇親会を盛り上げて頂きました。同窓生の方から「よくみてたけどありゃあわからん」との声も頂きました。

懇親会の中では、2026年9月5日に開催される広島の同窓大会の御案内が今年度の同窓大会担当副会長である緒方直之さん（高44回）と大会世話人の68回生からございました。

大じゃんけん大会は、マジシャン小梅さんとのじゃんけんとなり広島巨人戦ペアチケット、広島横浜戦ペアチケットなど多数の景品が用意され、盛り上がりました。

その後、次年度の実行委員への引き継ぎ（4の回から5の回へ）が行われ、最大のイベントである校歌斉唱に移り、会場が一体となって校歌を斉唱しました。最後に、稲田英一郎幹事長（高49回）の閉会宣言をもって、午後9時に盛会のうちに閉会しました。

本年の開催にあたり、修道学園、同窓会本部、同窓会近畿支部をはじめ、関係者の皆様には多大なご支援・ご協力を賜りましたこと、改めて心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。


校歌斉唱

令和7年度 近畿支部総会・集いの報告

近畿支部
河本　浩二（高45回）

令和7年12月7日（日曜日）ホテルグランヴィア大阪にて令和7年度総会・集いを開催しました。佐藤宏介さん（高31回）、宮本芳明さん（高40回）の司会のもと、67名の同窓会員と4名のご来賓のご参加を得ての開催となりました。

開始前にはヴァーチャル学校見学として現在の修道学園の写真を会場で流し、３００周年記念を盛り上げました。

記念講演では関東支部会長の弘中惇一郎様（高16回）が「大阪の想い出　弁護士業務の中で」という演題でご講演をしてくださりました。普段あまり知ることのできない弁護士の仕事や裁判の様子について伺うことができ、大変興味深く感じました。

総会では会計報告、監査報告を行い、ご来賓の修道学園同窓会副会長の廣谷清様（高28回）、関東支部会長の弘中惇一郎様、東部修道会副会長の惠谷龍二様（高23回）、修道中学校・高等学校校長の田原俊典様からそれぞれご挨拶をいただき総会は滞りなく終了しました。

吉井聖三さん（高16回）の音頭による乾杯ではじまった集いでは、恒例となった同窓会員のスピーチやジャグリング班ＯＢによるパフォーマンス、カープ修道コラボグッズの販売、お楽しみ抽選会、そして近藤達夫さん（高29回）の歌唱動画と大いに盛り上がりました。

エール、肩を組んでの校歌斉唱の後、大学生５人の音頭による万歳三唱で集いを終了しました。



総会での集合写真

当日は予定通りに進まずバタバタするところもありました。それもまた近畿支部らしいかなと思います。美味しい料理と仲間の笑顔に囲まれて楽しい時間が過ごせました。

令和8年度 新入生歓迎懇親会の報告

近畿支部
河本　浩二（高45回）

２０２６年５月10日、修道学園同窓会近畿支部の新入生歓迎懇親会を開催しました。昨年と同じしゃぶしゃぶ食べ放題「空」にて大学生・大学院生38名を含む50名で盛大に執り行われました。

まずは太田会長の歓迎の言葉の後、乾杯の音頭で食事が始まりました。唐揚げやエビフライ、牛と豚のしゃぶしゃぶ等、美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごしました。

会の半ばで大学生から高校時代のクラブ活動や４月からの新生活について自己紹介をしてもらいました。一方社会人からもそれぞれの経験を踏まえてメッセージを送りました。人生にとって大切な４つの〝Ｈ〟や防災の意識など若手のみならず社会人にとっても役に立つ話が聞けました。

その後は和気あいあいとした雰囲気で会は進行しました。年齢や立場が違っても同じ修道出身というだけで通じ合えるものがあるのは本当に貴いことですね。

会の終わりには佐藤副会長から締めの挨拶とともに、その日の広島カープの勝利が報告され会場は大いに盛り上がりました。

最後は修道校歌を斉唱したのち、太田会長のエールで会を締めました。

修道学園同窓会近畿支部では新入生歓迎交流会など大学生、大学院生のサポートを続けていきたいと思います。



集合写真

第32回 九修会総会（令和7年11月16日）報告

九修会　石本　俊亮（高27回）

令和7年の総会は、博多駅近くの博多八仙閣本店において11月16日日曜日に開催いたしました。

当日は、田原学校長、深山同窓会長をお迎えし、九修会会員14名、令和7年九州地区進学者4名に加え、300周年同窓大会世話人である久保様に参加いただき、合計21名で行いました。

会の冒頭では、近藤九修会会長より300周年の同窓大会の概要や当日配付された記念誌などが紹介されました。続いて、田原学校長からは、吉川晃司氏との対談裏話をお話しいただくとともに、記念行事の内容を紹介いただきました。深山同窓会長からの修道学園創始300周年に合わせ、カープ初優勝から50年、毛利輝元没後400年といった記念の年であることや、広島城の改築計画など広島の変化について紹介いただきました。

その後、懇親会へと進みました。懇親会では、吉川晃司氏のナレーションで製作された記念ムービー「道は、未来へつながる」を視聴し、総会参加者は、改めて修道の大きな存在を感じられていたようです。

また、進学者からは、元気に大学生活を送られている事を報告いただき、先輩からは、大学時代に経験すべき事などのアドバイスが送られ、年齢差はあるものの、和気藹々とした懇親会となりました。また、同窓大会世話人の久保様から、記念グッズを紹介いただき、記念にTシャツなどを買い求められていました。

最後に校歌を全員で歌い、万歳三唱を行って、無事に総会を行う事が出来ました。



九修会総会：R７年11月16日博多八仙閣本店にて

剣道でつながる愛

東部修道会　三島　敦宏（高45回）

私は、10年程前に剣道を再開した。

10年前と言えば、カープが25年振りにリーグ優勝した年である。といっても、剣道再開とカープ優勝とはまったく関係はない。

きっかけは、私の次女が近所のお姉ちゃんに憧れ、剣道の道場へ入会したことだった。次女が楽しそうに稽古に行く姿を見て、つい言ってしまったのだ。

「実は父さんも剣道しとったんでー。結構強かったんじゃけー」、と私。

「ほんまー?じゃあ、お父さんも一緒に剣道やろうやー」、と次女。

無論、可愛い娘に誘われたら断る選択肢は無く、鼻の下を伸ばして剣道を再開することになった。

話を戻すと、25年ぶりに再開した剣道だが、私の剣道のルーツはやはり修道での剣道班であろう。

私は中学1年の冬に剣道班に入部した。当時の顧問は山内先生と池田先生。山内先生は剣道の有段者で私たちに稽古をつけてくださり、池田先生は遠征などの引率をしていただいた。

そのおかげで、私たちは毎年県大会に出場できるほど強くなることができた。夏休みには学校に宿泊して合宿稽古をしたり、福岡県で行われる玉竜旗剣道大会に遠征したこともあった。剣道班の仲間とはお互いに多感な年頃で、すれ違いもケンカもした。何人かの仲間に謝っていないことを、今になって反省している。

他校との合同稽古も、可部高校、広島学院などいくつかあった。その中で一番楽しかったのは、言うまでもなく広島女学院との合同稽古だった。広島女学院の可憐な女子生徒たちが、我が校の男臭～い剣道場に来て一緒に稽古したのだ。

この夢のような合同稽古を実現してくださった先生方は、今どき風に言えば「神対応」というべきか。

さて今年6月に三次市で開催された県総体の個人戦が開催された。この会場で山内先生が私を見つけて声を掛けて下さり、久しぶりにお会いすることができた。山内先生も修道生の応援に来られていたとのことだったが、なんと私の次女の試合も見てくださっていたのである。

実は私が剣道を再開するきっかけとなった次女が小学生の頃、コロナ禍の少し前だが、一緒に修道を訪れ剣道の稽古に参加させていただいたことがあった。

山内先生をはじめ、高木先生や

剣道班の生徒たちも、次女を快く稽古に参加させてくださった。修道生に負けまいと稽古した次女は今や高校2年生となり、昨年と今年2年連続インターハイに団体出場し、国スポ広島代表の最終選考まで残る選手となった。

この久しぶりの山内先生との再会で、あらためて先生のお心遣いと生徒愛に深く感服した。遠方の会場まで生徒の応援に来られ、そして広い会場の中で私を見つけてくださり、また私の次女の試合まで見てくださる。このような修道の先生方の生徒愛、人間愛が、300年もの長い修道の歴史をつないでいるのだ、と私は改めて感じることとなった。いや、もしかしたら卒業後30年以上経った今だからこそ、先生方の愛に気付けるようになったのかもしれない。

私が修道に入学していなければ、また剣道班に入部していなければ、もしかしたら私は剣道をしていなかったかもしれない。その私が現在は福山市に移り住み、近くの道場で子供たちに剣道を教えている。修道剣道班で教えていただいた人間愛を、自分の教え子たちにも伝えていきたいと思う。

第32回江能修友会報告

江能修友会

山下　江（高23回）

江能修友会は、江田島・能美島（江田島市）からの船通学者を中心に江田島市とゆかりのある修道高校OBで構成されています。昨年6月で設立30周年を迎えましたが、今年は、総会・懇親会が、6月21日（日）お昼、割烹大学（大柿町）にて開催されました。修道高校田原校長・修道同窓会田戸副会長もご来島いただき、17名にて開催されました。総会では、山下江会長（高23回）、美濃英俊事務局長（高42回）が再任されました。



エプソンフォトグランプリを受賞した平野副会長の説明

懇親会では、この度、全国約1万2000件の応募の中から「エプソンフォトグランプリ」（優勝）を受賞した平野良雄副会長（高23回生）から、写真の説明がありました。題名は「虹を纏う」（まとう）。7年間にわたり自宅（江田島市）の庭に来る鳥を逆光の中で撮影したものから7点を出展したとのことでした。

また、江田島市地域おこし協力隊として来られそのまま家族で同市に移住した後藤峻幹事（高54回生）が、自身が経営する一般社団法人フウドの海の環境保全活動を、昨年開催された関西万博にて紹介したことなどの活動報告がありました。

その後、参加者全員が、最近の近況についてみなで報告しあいました。笑いが絶えない和やかな雰囲気にて、懇親会は終了しました。初参加の方もいらっしゃいました。江田島市に関係のある同窓生は、来年ぜひ、ご参加ください。



懇親会開始時の集合写真（割烹大学・大柿町）

修道医会 令和7年度（第69回）総会 報告

修道医会

松本　正俊（高42回）

修道医会は修道学園を卒業し、主として広島県内で医師として活躍している方々の集まりであり、会員数は現在996名です。昭和31年7月1日に発足して以降、毎年1回の総会、ゴルフ大会、家族会（野球観戦）等を催しています。平成20年から学生部会をつくり（現在会員数72名）、広島大学医学部の在学生のみならず、他大学医学部の在学生にもよびかけて部会としての活動を行っています。

今年度の総会は、令和7年8月2日（土）ANAクラウンプラザホテル広島にて開催しました。午後4時30分からの評議員会・総会において、令和6年度の事業報告や

決算報告、令和7年度の事業計画と予算承認が行われました。第26回学術奨励賞は受賞者2名で、京道人先生（高55回：広島大学原爆医科学研究所　放射線災害医療開発研究分野 助教）が、“Respiratory Virus-Specific Nasopharyngeal Lipidome Signatures and Severity in Infants With Bronchiolitis: A Prospective Multicenter Study J Infect Dis. 2023;228:1410-1420.”の論文業績で受賞、武本健士郎先生（高58回：広島大学病院　泌尿器科 助教）が、“Impact of low and high body mass index on predicting therapeutic efficacy and prognosis in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with first-line tyrosine kinase inhibitors（一次治療としてチロキシンキナーゼ阻害薬が導入された転移性腎細胞癌患者におけるＢＭＩが治療効果および予後に及ぼす影響）International Journal of Urology, 30: 319-327, 2023.”の論文業績で受賞されました。第23回社会功労賞は、石光秀年先生（高31回：似島診療所 所長）が、長年にわたり島内の公衆衛生活動全般に貢献してこられたことで受賞、第15回文化功労賞は田原昌博先生（高42回：広島中央通りこどもクリニック 院長）が、小説「たすき」の執筆を通じて移植医療への理解促進・啓発活動への貢献が評価されたことで受賞されました。



原純様（高30回）による特別講演「蓬莱鶴の酒造り」

次いで午後5時30分からの特別講演（ｉ）では岡田剛先生（高42回：広島大学 大学院医系科学研究科 精神神経医科学 教授）より、〝うつ病の診断は〝見える化〟できるのか？ ―脳科学とＡＩによる挑戦―〟と題したご講演を拝聴し、特別講演（ⅱ）では、原純氏（高30回：株式会社 原本店 代表取締役 蔵元杜氏）より、〝蓬莱鶴の酒造り〟と題したご講演を拝聴しました。

午後7時からは懇親会を開きました。会長の板本敏行先生（高28回：県立広島病院院長）のご挨拶に引き続き、ご来賓の林正夫修道学園理事長、深山英樹修道学園（中・高）同窓会会長、田原俊典修道中・高等学校校長よりご挨拶いただきました。さらに前述の3つの賞の表彰と受賞者の謝辞がありました。続いて、理事長就任のご挨拶を高澤篤之先生（高50回：医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院　理事長）にいただき、修道医会新会長の石橋克彦先生（高33回：中電病院 院長）に会長就任のご挨拶をいただきました。その後、学生部会部会長の挨拶、校歌斉唱後に土肥雪彦先生（高6回）より万歳三唱の音頭をいただき、最後は事務局長の松本（高42回）の閉会の辞で盛会裏に会を終えました。



総会の様子

今年もこの会により修道健児の心意気を示すとともに、今後の各分野での個々の活躍と修道同窓生としての連携を確認した次第です。

第62回 広島修道歯科医会総会

広島修道歯科医会
毛利　雅哉（高31回）

令和7年11月15日（土）午後4時より、ＡＮＡクラウンプラザホテル広島において標記の会が開催された。物故者への黙祷の後、総会に入り、川原正照会長が1日に開催された修道学園創始３００周年記念式典について話をした。報告事項の後役員改選を行い、川原会長の3期目の会長就任が満場一致で決定した。その後「超高齢社会におけるインプラント治療戦略」と題し、正木千尋九州歯科大学口腔再建補綴学分野教授（高45回）が講演を行い、欠損部位に義歯やインプラントで補綴した後は食事指導等で術後管理することが極めて重要であると力説された。懇親会では林正夫理事長、田原俊典校長にも参加していただき、修道創始３００周年記念として本会から寄付

金が林理事長に手渡された。学年や地区も違う開業医が〝修道〟という歴史ある家に集い、和気藹々と素晴らしい時間を過ごした後、校歌を斉唱してお開きとなった。



第62回修道歯科医会集合写真

令和7年度広島市修道会 活動報告

広島市修道会

長田　開（高67回）

広島市修道会は、広島市役所に勤務する職員のうち、修道中学・高等学校及び修道大学の卒業生約200名を会員として構成しており、同様に卒業生の市議会議員の先生方にも顧問として入会していただいています。

例年は、総会及び懇親会（御来賓として修道中学・高等学校と修道大学から、それぞれ校長と学長の御臨席を賜っております。）のほか、役員会や幹事会など年数回程度会員が顔を合わせ、在学時代の思い出を語り合いながら親睦を深める機会を設けており、市役所の中でも歴史の長い同窓会として活動を続けています。

昨年度は令和8年2月4日に広島市文化交流会館にて総会及び懇親会を開催しました。当日は、御来賓として修道中学・高等学校より田原校長に御臨席を賜り、顧問である市議会議員6名を合わせて総勢43名の参加がありました。なお、例年御来賓として御臨席を賜っている大学の矢野学長は、所用により御欠席されました。

総会では、会計・監査報告の後、人事異動に伴う役員の変更等についての議題審議があり、満場一致で承認されました。

続いて行われた懇親会では、田原校長に修道中学校・修道高等学校の近況も交えた御挨拶をいただきました。また、御欠席された矢野学長からは大学の近況を交えたメッセージをいただき、ご紹介させていただきました。会員の多くは、卒業後に学園について触れる機会がほとんどないため、中学・高校、大学ともに今もなお発展し続けている近況を聞くことができ、在学時代の思い出に浸るとともに、大変誇らしい気持ちでいっぱいになりました。公私とも御多用の中御出席をいただき、心温まる御挨拶をいただきました田原校長、御多用の中メッセージをいただきました矢野学長のお二方には、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。



懇親会で挨拶をする田原校長

昨年度は、修道学園創始300周年という記念すべき年であるため、例年行っているビンゴ大会の代わりに、修道学園創始300周年スペシャルムービーの上映を行いました。修道学園が存亡の機に何度も直面しながら、先人の情熱と努力によって300年の歴史を刻むことができたことを学び、参加者の母校修道学園への想いがより一層深くなったと感じました。その後再び田原校長に登壇していただき、いまや〝修道のレジェンド〟であり、スペシャルムービーのナレーションを担当した吉川晃司さんとの対談の際のエピソードを語っていただきました。参加者は、修道会でしか聞くことのできない貴重な裏話に熱心に耳を傾けていました。

昨今は、市役所内でも個人情報の取扱いについてデリケートな問題になっており、新規会員の勧誘がなかなか難しい状況にあります。しかしながら、市役所という大所帯の中で、同窓の先輩後輩が一堂に会し語り合う機会は非常に貴重であるため、今後とも会員が楽しめるような様々な企画にチャレンジし、若手会員を増やすとともに、広島市修道会を更に発展させるよう努めていきたいと考えています。

修道十日会 卒業六十八周年同期会

池本　章（高10回）

去る花見の日、四月三日「半べえ」で32名が集い（前回出席者は38名）開催いたしました。重森三玲作の庭園で桜花のもと記念撮影をすませ、12時より開会しました。黙祷の後（この一年間で5名逝去）、世話人代表杉原君から創始三〇〇周年記念事業への寄付金目標達成のお礼の挨拶、遠来の秋光純君、山本修也君両名の乾杯発声の後、歓談に入りました。懇談の途中、訃報5名の中1人、有本啓治君は生前に旭日小綬章、故望月昭君、佐々木正博君、髙木一之君も同じ旭日小綬章、秋光純君は瑞宝中綬章と紫綬褒章を受章されていることが披露されました。各人のスピーチ、小滝凡人君の長生き音頭の歌謡指導もあり2時間半はあっという間に経ち、林一之君の校歌斉唱、東水豊君の締めで、一年後に再会を約し和気あいあいのうちに散会いたしました。また、開催にあたり修道後輩の「半べえ」金井社長には送迎・設営等何から何までお世話になりました。同窓会事務局には開催の案内をホームページに載せてもらい、封筒・会誌を頂き、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。



卒業六十八周年同期会　集合写真

修道創始300周年と高校17回生卒業60周年を祝う

信原　憲治（高17回）

わが修道学園は1725（享保10）年広島に開設された広島藩の藩校「講学所」を起源とし、昨年11月4日めでたく創始300周年を迎えました。

学園では新校舎が無事完成し、多彩な記念行事がとり行われるなか、創立記念日の11月4日をはさんで前後1週間、発祥地である広島城の夜空に3本のサーチライトの光の筋が力強く輝きました。新聞やテレビでも報道されましたが、修道中学校・修道高等学校、広島修道大学、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校の3校からなる修道学園の300周年を祝し夜空に輝く3本の光は同窓生にとりましても、広島という地域とともに歩んできた修道の長い歴史にあらためて思いを馳せる貴重な機会となりました。



広島城に輝く3本の光の筋

我々高校17回生にとりまして修道300周年の記念すべきこの年が高校卒業60周年と丁度重なり積極的に諸活動をすすめました。

先ず9月6日リーガロイヤルホテル広島で開催された300周年を祝う修道学園（中・高）同窓大会は700名を超える大盛会となりましたが、17回生は有志15名がワンテーブルを囲み、当日記念にいただいた修道6色ネクタイを全員着用して300周年を祝いました。尚、本同窓大会の幹事は17回の我々より丁度50年若い67回の皆さんが立派につとめられ、会の終わりに御礼の握手を交わして労をねぎらいました。

次に17回生卒業60周年記念同期会は9月20日ホテル広島サンプラザで開催しました。夕方からの同期会に先だって同日午後希望者18名が新しくなった母校見学を行いました。当日は池田事務局長様、小島様に記念品室や体育館、敬道館そして渡り廊下の西側の十竹ホールや食堂、修道広場等をご案内いただき、立派になった現キャンパスで60年前の修道を回想しながら懐かしい一時をすごしました。



300周年記念同窓大会　於　リーガロイヤルホテル広島

続いて同日17時からサンプラザに場所を移して卒業60周年記念同期会を開催しました。今回は記念すべき年であり各組の幹事がクラス毎に手分けして事前に呼びかけを徹底した結果、札幌・東京・大阪からの参加も含め、57名の盛況となりました。先ずこの一年間になくなられた方々に黙祷を捧げて会は始まり、お互い高校卒業後60年という年輪を重ねて

きたことを痛感しつつ、近況交換や健康談議に花を咲かせました。最後に全員が輪になり肩を組んで校歌斉唱し、また一年後の元気での再会を誓いあいました。

17回生一同は今年80歳の傘寿を迎える年となりましたが、「継続は力なり」これからも体力の続く限り毎年同期会を継続していくとともに母校の同窓会活動にも微力を尽くしていこうと誓い合っています。

最後になりましたが、わが修道がこれからも時代を先取りしながら、創始400年へむけて着実に前進をとげられますことを心より祈念しております。



母校見学 於 十竹ホール



修道高校17回生卒業60周年記念同期会　於　ホテル広島サンプラザ

喜寿の祝宴　4月14日、長岡京市・錦水亭でタケノコ料理を満喫

木下　行就（高20回）

我々、近畿修道20期会は1991年に結成され、今年で36年になります。

名簿のうえでは、20期の同窓生は約50名いることになっていますが、現在私たちが把握できている同級生は、約25名。そのうち、常時連絡を取り合い、恒常的に同窓会に参加される方は約13～15名くらいです。この間亡くなられた同窓生は4名です。

居住地が京都府・大阪府・滋賀県・奈良県・兵庫県・和歌山県の2府4県という広域になっているので、大阪梅田が会場になります。同窓会は、大体年二回で7月に暑気払いの会、11月に忘年会を実施。同窓会と言っても、特に堅苦しいモノではなく、仲間が顔を合わして、酒食を共にするというもので、人数も少ないので、いつも打ち解けた楽しい集まりとなっています。

今年2026年は「喜寿」の年に当たるので、その祝いをかねて、4月14日（火）京都府長岡京市の長岡天満宮・錦水亭の「タケノコ会席」にて同窓会を行ないました。出席者は、広島から修道同窓会の穴田幹事を迎え、13名でした。

まず、この辺り（乙訓郡）は昔から有名な筍の産地です。会場となった長岡京市の錦水亭（明治14年創業）はタケノコ料理の料亭として有名で、この時期はなかなか予約が取れないという人気の名店です。

もともと、この辺りは、江戸時代八条宮家（のちに桂宮家）の領地だったところです。八条宮というのは、桂離宮を建てた智仁・智忠親子を初代・二代とする親王家です。八条宮家が長岡天満宮を整備し、八条ヶ池を造成しました。そのため風光明媚な景観が残されてきたと言えます。

錦水亭は、八条ヶ池のうえに、数寄屋造りの屋形を構え、そこを座敷として日本料理を提供しています。3月半ばから5月初めにかけて筍料理が有名で、各地から多くの客を迎えます。池のまわりに、4月半ばから5月にかけて、真っ赤なキリシマツツジが咲きほこり、華やかさで包まれます。

池の上に建てられた屋形は、障子を開けると、池の水面を通る心地よい風が部屋の中に入ってきて、その中で美味しいタケノコ料理を満喫しました

食事の後、錦水亭の上にある長岡天満宮に参詣し、喜寿の祝賀を祝いました。ついでながら、道真は丑年生まれです。同じ丑年生まれの我々が、喜寿の年に天満宮に参詣できたことは偶然ですが、良い思い出となりました。



集合写真

修道魂、レジリエンス（回復力）、両親・先輩への感謝

平井　伸治（高24回）

1 良かった話

質実剛健、知徳併進、枠にはめない校風と挑戦者の気概、『修道魂』。

堅実で派手さはなく、バンカラな面もあり、校則は厳しくなく、昼休みはみんなでサッカーをして楽しむ。将来は何かに挑戦したいという、心に秘めた想い『修道魂』を培った6年間は何ものにも代えられない貴重な経験です。

2 思い出

在学中に大学の学生運動の影響あり、一部の学内高校生によって、校舎が一部封鎖されようとしました。機動隊が学内に導入された時に、在校生が機動隊に猛反発して大変もめました。その際、当時の高校主事（今日における教頭）楢崎達二先生が奮闘されて、大事に至らないように対応されたことが印象的でした。私は、この学生運動を契機として、「エリート」ではなく「世の中のために役立つ人」を目指すことを考えるようになりました。



体育祭、先頭の丸坊主、平井伸治
【高24回卒業アルバムより】

また、卒業後に、関東・近畿・広島の同窓大会へ参加させていただくことがとても良い思い出であり、現在進行形で継続していることです。



中央は楢崎達二先生　学内の高校生に詰め寄られた時の写真
【高24回卒業アルバム裏表紙より】

3 次のチャレンジ

私は、3浪までしながら普通の私立大学へやっと入学。それでもあきらめないで人生に希望を持ち続け、大学4年生の時にチャンスが巡って来ました。

私が所属する4年生ゼミの教授に、つくば市にある現在の環境省国立環境研究所 研究員の方からご依頼があり、私は研究所へ通って卒業研究をさせていただくことになりました。さらに、先輩方から親身のご指導をいただき、研究所の近くにある国立の大学大学院 環境科学研究科の入学試験に、本当にお蔭様で合格することができました。また、父が自分の生命保険を解約して入学に必要な学資を準備してくれました。これがなければ今の私はありません。

引き続き研究所でお世話になり、修士論文は、研究所の世界初大型レーザーレーダで気象観測したデータをまとめ、代表として日本気象学会で発表しました。さらに「ミスター環境庁」と言われ、筑波大学、東京大学の教授になられた橋本道夫先生に、直接人生相談させていただき、日本国内から世界へ向かう人生へと大きく舵を切ることになったのです。

「レジリエンス」回復力は、私の両親の支援と『修道魂』を持ち続けたお蔭様と考えています。



300周年記念同窓大会24回生集合写真（敬称略）
後列左から 山内義治、川西昌弘、仁井勝三、小田光登、田中茂、平井伸治、岩本芳見
前列左から 横山健次、矢野隆、藤田省蔵、八谷忠伸、下田保清

日系、外資系の会社でキャリアを重ね、リストラも経験しましたが、「学ぶ」ことは続けました。

総務省の無線免許やＩＴ関連の国際資格4つ取得し19ヶ国のエンジニアと仕事。海外出張21回、英会話でパソコンＷＥＢ会議は１３００回以上。

現在、お蔭様で楽天モバイルにて、20～30才代の95％外国人エンジニアと英会話でお仕事させていただいております。

修道創始３００周年同窓大会では、楽天グループ ぐるなびＣＥＯ杉原章郎さん（高40回）にご挨拶いたしました。

世界の3つの巨大通信会社（ＡＴ＆Ｔ、ＮＴＴ、ドイツテレコム）がなしえなかった、世界初の技術（ソフトウェアベースで構成された通信設備および低軌道衛星とスマホの直接通信システム）を駆使した通信サービス業務に従事しており、エンジニア冥利に尽きます。「感謝の言葉しかございません」

修道で培った『修道魂』は宇宙からのメッセージ・天の意思、それを持ち続けることがとても大切です。



楽天グループ会社、本社ロビーにて
同僚 アフリカ・ザンビア国出身、秋田大学大学院修了
コロコ・ラプソンさんと

修道の後輩の皆さまへ次の言葉を送らせていただきます。

『修道魂持ち続け、天意悟って尽くせ世界に！』　誠にありがとうございました。

36期生還暦同窓会開催までの歩み

酒井　まろ（高36回）

2025年8月16日、「修道36期生還暦同窓会」が開催されました。

懐かしい同級生、そして恩師の先生方が一堂に会し、笑顔と感動に包まれた忘れられない一日となりました。



恩師の先生方（前列中央4名）
（左から：玉置先生、横洲先生、川手先生、田阪先生）

この同窓会は、2021年のコロナ禍から始まります。外出も難しい時期、同級生同士で始めたリモート飲み会がきっかけでした。最初は近況報告や昔話を楽しむだけの集まりでしたが、2023年1月頃から「還暦同窓会をやろう」という声が上がり、本格的な準備がスタート。幹事団を中心に2年以上にわたり会議を重ね、開催日を2025年8月16日に決定しました。

名簿だけでなくFacebookグループも活用し、Facebook登録者は145名から187名へ拡大。さらにハガキや口コミで声を掛け合い、最終的には参加者120名を超える大規模な同窓会となりました。



懐かしの写真上映とリモート参加者

当初は広島と東京の2会場をリモートで結ぶ計画でしたが、「やはり広島で直接会いたい」という思いが強まり、リーガロイヤルホテル広島での開催を中心に、遠方の仲間にはオンライン配信で参加してもらう形へ変更しました。

開催1年前からは広島市内で定例会を重ね、記念品、料理、前日のカープ観戦イベントまで細かく準備。当日は横山君が構築した配信システムにも支えられ、多くのリアル参加者とリモート参加者、そして恩師である玉置先生、川手先生、田阪先生、横洲先生をお迎えすることができました。

会場では修学旅行、林間学校、臨海学校、体育祭、文化祭、部活動などの懐かしい写真が映し出され、みんな一気に青春時代へ戻りました。私は司会と三味線都々逸を担当しましたが、恩師の前で修道伝説の「女子校数え唄」を披露することになり、冷や汗をかく場面もありました。

そして最後は、会場全員での校歌斉唱。胸が熱くなりました。

普段なかなか連絡の取れない同級生や恩師と再会できたこの日は、人生の中でも特別な宝物のような一日になりました。



酒井まろくんのミニライブ

（※この原稿を執筆してくれた酒井磨くんは、2026年6月27日に急逝されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。――36回生一同）



修道高校36回還暦同窓会　集合写真



会場全員での校歌斉唱

修道学園同窓会連合会・修道学園（中・高）同窓会
事業報告並びに収支決算、収支予算

2025(令和７)年度　事業報告

（2025年４月１日～2026年３月31日）

１.修道学園同窓会連合会

事　項	実施日	備　考
監査会	2025年５月23日(金)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議，幹事会・評議員会（６月）	2025年６月27日(金)	ホテル広島ガーデンパレス
正副会長会議，幹事会・評議員会（３月）	2026年３月13日(金)	ホテル広島ガーデンパレス

２.修道学園(中･高)同窓会

(1)事業

事　項	実施日	備　考
正副会長会議，幹事会・評議員会（６月）	2025年６月27日(金)	ホテル広島ガーデンパレス
会報誌「修道」№91（300周年記念号）発行	2025年９月１日(月)	
正副会長会議，幹事会・評議員会（９月）	不開催	
講演会，意見交換会	不開催	
修道学園（中・高）同窓大会	2025年９月６日(土)	リーガロイヤルホテル広島
臨時正副会長会議	2026年１月16日(金)	修道中学校・修道高等学校
第78回修道高等学校卒業式（同窓会入会式）	2026年３月１日(日)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議，幹事会・評議員会（３月）	2026年３月13日(金)	ホテル広島ガーデンパレス

(2)同窓大会・支部総会

総会名	開催日	備　考
学校見学会（同窓大会企画）	2025年９月６日(土)	修道中学校・修道高等学校
300周年記念コンサート（同窓大会企画）	2025年９月６日(土)	広島県民文化センター
300周年記念トークセッション（同窓大会企画）	2025年９月６日(土)	広島県民文化センター
修道学園（中・高）同窓大会	2025年９月６日(土)	リーガロイヤルホテル広島
関東支部のつどい	2025年７月14日(月)	東京ドームホテル
近畿支部総会	2025年12月７日(日)	ホテルグランヴィア大阪
九修会総会	2025年11月16日(日)	博多八仙閣本店
東部修道会総会	2025年10月11日(土)	福山ニューキャッスルホテル
江能修友会総会	2025年６月22日(日)	uminos
修道医会総会	2025年８月２日(土)	ANAクラウンプラザホテル広島
広島修道歯科医会総会	2025年11月15日(土)	ANAクラウンプラザホテル広島
広島市修道会総会	2026年２月４日(水)	広島市文化交流会館

(3)活動支援　※高校78回生に卒業記念品を贈呈
※修道中学校・修道高等学校「運動班・文化班等」の活動支援（激励費支給）

事　項	実施日
令和７年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法大会　単独・団体	2025年７月23日～７月25日
令和７年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会 トラック競技（４km速度競争）・ロード競技	2025年７月30日～８月３日
第19回全国中学生少林寺拳法大会　単独・団体演武	2025年８月１日～８月３日
令和７年度全国高等学校総合体育大会登山大会	2025年８月５日～８月９日
令和７年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会　200m平泳ぎ	2025年８月17日～８月20日
第52回全日本中学校陸上競技選手権大会　男子100m	2025年８月17日～８月20日
FIDA WORLD CUP 2025（ドローンサッカー）	2025年９月25日～９月28日
第56回U16陸上競技大会 U16男子150m	2025年10月17日～10月19日
第16回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会　男子リード	2025年12月20日・21日
サステナブル・ブランド国際会議2026東京・丸の内Student Ambassador	2026年２月18日・19日
第12回［2025年度］全日本ジュニア（U17）水球競技選手権大会	2026年３月18日～３月22日
第48回（2025年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会	2026年３月26日～３月30日

３.広島修道大学同窓会

(1)事業

事　項	実施日	備　考
アルマガゼットNo53発行	2025年10月１日(水)	
第61回広島修道大学同窓大会	2025年11月１日(土)	リーガロイヤルホテル広島
広島フラワーフェスティバルへの参加	2025年５月３日～５日	

(2)支部総会

総会名	開催日	備　考
九州修大会	2025年６月７日(土)	ホテルクリオコート博多
中部修大会	2025年６月28日(土)	ストリングスホテル名古屋
宇部修大会	2025年11月30日(日)	国際ホテル宇部
岡山修大会	2025年８月30日(土)	アークホテル岡山
三次修大会	2025年11月22日(土)	森新
福山修大会	2025年９月６日(土)	福山ニューキャッスルホテル
関東修大会	2025年９月20日(土)	グレースバリ秋葉原
周南修大会	2025年11月15日(土)	敦煌
岩国修大会	2025年９月27日(土)	花善
関西修大会	2025年10月４日(土)	ハートンホテル西梅田
長﨑修大会	2025年10月11日(土)	花りん
北海道修大会	2025年６月14日(土)	ホテルニューオオタニイン札幌
日本海修大会	2025年10月18日(土)	GUZEL
香川修大会	2025年11月８日(土)	ホテルマリンパレスさぬき
鹿児島修大会	2025年12月６日(土)	みやま本舗
愛媛修大会	2026年２月21日(土)	東急REIホテル

４.広島修道大学大学院同窓会

(1)事業

事　項	実施日	備　考
2025年度広島修道大学大学院総会	2025年8月30日(土)	多津満

５.鈴峯同窓会

(1)事業

事　項	実施日	備　考
鈴峯同窓会総会	不開催	隔年開催のため

2025(令和７)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支決算書

2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
分担金	1,305,000	1,330,000	△25,000	@1,000円×1,330名 (中高275名、大学810名、 大学院24名、鈴峯221名)
預金利息	25,000	57,360	△32,360	普通預金利息・ 定期預金利息
雑収入	1,000	10,000	△9,000	合同懇親会 祝い金　他
小　計	1,331,000	1,397,360	△66,360	
前年度繰越金	30,684,430	30,684,430	0	
収入の部 合計	32,015,430	32,081,790	△66,360	

(支出の部)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
業務費	620,000	184,967	435,033	
会議費	250,000	70,127	179,873	合同会議会場代　他
通信費	150,000	23,400	126,600	合同会議案内郵便代　他
慶弔費	100,000	50,000	50,000	同窓大会祝金、 永年勤続表彰記念品料
諸費	120,000	41,440	78,560	印刷代、残高証明書 手数料　他
予備費	500,000	0	500,000	
小　計	1,120,000	184,967	935,033	
次年度繰越金	30,895,430	31,896,823	△1,001,393	
支出の部 合計	32,015,430	32,081,790	△66,360	

貸借対照表　2026(令和８)年３月31日現在　(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
事業基金引当特定資産	8,550,812	事業基金引当金	8,550,812
普通預金	8,550,812		
一般会計資産	31,896,823	剰余金	31,896,823
普通預金	16,810,580		
普通預金	86,243		
定期預金	15,000,000		
合　計	40,447,635	合　計	40,447,635

事業基金引当特定資産計算書　2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで　(単位：円)

支出の部		収入の部	
項　目	金　額	項　目	金　額
残高証明書発行手数料	550	預金利息	13,733
小　計	550	小　計	13,733
次年度繰越金	8,550,812	前年度繰越金	8,537,629
合　計	8,551,362	合　計	8,551,362

2025(令和７)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支決算書

2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
入会金	828,000	825,000	3,000	@3,000円×275名（2025年度高３）
終身会費	1,932,000	1,925,000	7,000	@7,000円×275名（2025年度高３）
名簿売上代	3,830,000	4,153,300	△323,300	名簿38号還元金、@6,000円×20冊
預金利息	6,000	50,805	△44,805	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	200,000	97,324	102,676	2024年度同窓大会余剰金　他
事業基金引当特定資産からの繰入収入	5,000,000	5,000,000	0	
小　計	11,796,000	12,051,429	△255,429	
前年度繰越金	38,500,443	38,500,443	0	
収入の部 合計	50,296,443	50,551,872	△255,429	

(支出の部)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
事業費	2,200,000	1,895,432	304,568	
激励費	500,000	300,000	200,000	全国大会出場選手等への激励費
同窓大会補助金	200,000	200,000	0	2025年度同窓大会補助金
卒業記念品料	700,000	657,332	42,668	卒業記念品
その他の事業費	800,000	738,100	61,900	会報誌91号7,000部
業務費	1,880,800	1,076,538	804,262	
会議費	550,000	126,673	423,327	合同会議会場代　他
通信費	500,000	163,745	336,255	合同会議案内郵便代・電話代・宅急便代　他
慶弔費	180,800	180,800	0	支部総会祝金・永年勤続表彰記念品料
諸費	650,000	605,320	44,680	支部助成金・印刷代・残高証明書手数料　他
その他の支出	276,000	275,000	1,000	
連合分担金	276,000	275,000	1,000	@1,000円×275名（2025年度高３）
特別事業費	6,500,000	6,500,000	0	
300周年同窓大会特別企画運営費	6,500,000	6,500,000	0	2025年度同窓大会特別企画補助金
予備費	(1,500,800) 499,200		499,200	
小　計	11,356,000	9,746,970	1,609,030	
次年度繰越金	38,940,443	40,804,902	△1,864,459	
支出の部 合計	50,296,443	50,551,872	△255,429	

(注) 予備費 1,500,800円の振替科目及び使用額は下記のとおりであり、予備費残高499,200円となる。慶弔費:800円・300周年同窓大会特別企画運営費:1,500,000円　合計:1,500,800円

貸借対照表　2026(令和８)年３月31日現在　(単位：円)

資　産　の　部		負債・正味財産の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
事業基金引当特定資産	15,933,157	事業基金引当金	15,933,157
普通預金	15,933,157		
一般会計資産	40,804,902	剰余金	40,804,902
普通預金	12,383,234		
普通預金	1,421,668		
定期預金	27,000,000		
合　計	56,738,059	合　計	56,738,059

事業基金引当特定資産計算書　2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで　(単位：円)

支　出　の　部		収　入　の　部	
科　目	金　額	科　目	金　額
残高証明書発行手数料	330	預金利息	29,893
300周年同窓大会特別企画運営補助のための取崩	5,000,000		
小　計	5,000,330	小　計	29,893
次年度繰越金	15,933,157	前年度繰越金	20,903,594
合　計	20,933,487	合　計	20,933,487

2025(令和7)年度 修道学園(中・高)同窓大会 収支決算書

2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	決　算	摘　要
広告収入	5,270,000	協賛広告、同期会広告
会員券裏面広告協賛	150,000	株式会社ライフパートナーズ様
チケット	5,387,000	711枚販売
祝金	200,000	学校法人修道学園、修道中学校・ 修道高等学校　他
記念品売上	1,750,000	300周年カープコラボグッズ、 学年色別ネクタイ
預金利息	3,868	９月・３月普通預金利息
寄附金	2,665	
小　計	12,763,533	
同窓大会補助金	200,000	修道学園（中・高）同窓会より
収入の部　合計	12,963,533	

(支出の部)　(単位：円)

科　目	決　算	摘　要
大会チケット作製費	99,000	1,000枚
大会誌作製費	2,128,500	1,150冊
大会運営費	7,589,737	
会場費	4,858,137	
料理・室料・レセプタント	1,897,000	
フリードリンクプラン	2,132,289	
音響・映像・設営・印刷等	121,200	
サービス料	273,000	
消費税	434,648	
その他	2,731,600	
記念品関係支出	2,541,600	学年色別トートバック、『男子校の生態』クリアファイル、300周年カープコラボグッズ、学年色別ネクタイ
司会謝礼	60,000	本名正憲様
その他謝礼金	130,000	同窓大会誌題字筆耕料、ヒロコシグループ様
広告宣伝費	165,000	広島朝日広告社様
会議費	359,821	打ち合わせ費用　他
交通費	290,049	広告訪問移動費、各支部懇親会参加旅費　他
通信費	134,660	郵送代、資料送付代　他
諸会費	77,000	各支部懇親会費　他
交際費	202,080	運営スタッフ慰労会、支部手土産用菓子折代　他
雑費	179,904	事務用品費（封筒・ポスター・インク他）、 振込手数料　他
小　計	11,225,751	
一部繰り入れ金	1,737,782	修道学園（中・高）同窓会へ
支出の部　合計	12,963,533	

修道学園(中･高)同窓大会 300周年特別企画 収支決算書

2025(令和７)年４月１日から2026(令和８)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
300周年同窓大会 特別企画運営費	5,000,000	6,500,000	△1,500,000	修道学園（中･高）同窓会より
預金利息	0	2,252	△2,252	９月・３月利息
収入の部　合計	5,000,000	6,502,252	△1,502,252	

(支出の部)　(単位：円)

科　目	予　算	決　算	差　異	摘　要
大会運営費	5,000,000	6,397,807	△1,397,807	
記録撮影費	319,000	209,000	110,000	
会場費	325,835	325,835	0	
ホール・楽屋等使用料	152,500	152,500	0	広島県民文化センター　ホール代　他
音響・映像・設営・印刷等	173,335	173,335	0	看板、ポップスタンド　他
企画費（学校見学会）	55,000	55,000	0	
送迎バス代	55,000	55,000	0	学校⇒県民文化センター３便
企画費（コンサート）	137,385	260,500	△123,115	
スクールバンド班謝礼	75,510	200,000	△124,490	
楽器運搬費	61,875	60,500	1,375	
企画費(トークセッション)	1,600,000	1,851,860	△251,860	
ゲスト費（５名）	1,600,000	1,851,860	△251,860	山中様、伊藤様、杉原様、 西村様、コンテくん様
企画費（同窓大会）	2,256,480	3,389,312	△1,132,832	
食堂コーナー	276,480	248,832	27,648	かけそば・かけうどん 各150食、カレー200食
記念品（ネクタイ）	1,980,000	3,036,000	△1,056,000	６色統一ネクタイ
記念品（ネクタイ） 送付代	0	104,480	△104,480	当日記念品をお渡しできなかった方への送付料
企画運営諸経費	306,300	306,300	0	
弁当・飲料代	188,412	188,412	0	お弁当、お茶　他
世話人案内用Tシャツ代	99,000	99,000	0	漫画『男子校の生態』 コラボTシャツ
雑費	18,888	18,888	0	振込手数料、楽屋菓子代　他
予備費	(375,045) 0		0	
小　計	5,000,000	6,397,807	△1,397,807	
一部繰り入れ金	0	104,445	△104,445	修道学園（中・高）同窓会へ
支出の部　合計	5,000,000	6,502,252	△1,502,252	

(注)
１．予算額は2024年度３月幹事会資料４－２『2025（令和７）年度　修道学園（中･高）同窓大会【特別会計】想定収支書』の想定額とする。

２．支出の部における△は予算額からの不足額をしめす。

３．「300周年同窓大会特別企画運営費」について、追加1,500,000円の内訳概算額は下記のとおりである。
・企画費（トークセッション）ゲスト費　：　250,000円
【予算段階でゲストが確定していなかったため】
・記念品（ネクタイ）追加作成代及び送付代：1,150,000円
【来場予定者数を大幅に超え、記念品が不足したため】
・大会運営費　：　100,000円
【予算段階で計上していなかった必要経費が判明したため】

４．予備費375,045円の振替科目及び使用額は下記のとおりであり、予備費残高０円となる。
・会場費　：　88,235円（ホール･楽屋等使用料：24,900円、音響･映像･設営･印刷等：63,335円）
・企画費（学校見学会）：　55,000円（送迎バス代：55,000円）
・企画費（コンサート）：　75,510円（スクールバンド班謝礼：75,510円）
・企画運営諸経費　：156,300円（弁当飲料代:38,412円､世話人案内用Tシャツ代:99,000円､雑費:18,888円）

2026(令和８)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支予算書

2026(令和８)年４月１日から2027(令和９)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予　算	前年度予算	差　異	摘　要
分担金	1,362,000	1,305,000	57,000	各同窓会よりの分担金 @1,000円×1,362名 （中高282名、大学800名、 大学院24名、鈴峯256名）
預金利息	30,000	25,000	5,000	普通預金利息・ 定期預金利息
雑収入	1,000	1,000	0	
小　計	1,393,000	1,331,000	62,000	
前年度繰越金	31,896,823	30,684,430	1,212,393	
収入の部　合計	33,289,823	32,015,430	1,274,393	

(支出の部)　(単位：円)

科　目	予　算	前年度予算	差　異	摘　要
業務費	600,000	620,000	△20,000	
会議費	250,000	250,000	0	合同会議(６月･３月)・ 監査会　他
通信費	130,000	150,000	△20,000	切手ハガキ代・ 宅急便代　他
慶弔費	100,000	100,000	0	同窓大会祝金・ 永年勤続表彰　他
諸費	120,000	120,000	0	封筒代・印刷代・ 事務用品　他
予備費	500,000	500,000	0	
小　計	1,100,000	1,120,000	△20,000	
次年度繰越金	32,189,823	30,895,430	1,294,393	
支出の部　合計	33,289,823	32,015,430	1,274,393	

(注)
１．△は前年度予算に比べ、減少を示す。
２．2025年度３月幹事会審議にて、承認済み。

2026(令和８)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支予算書

2026(令和８)年４月１日から2027(令和９)年３月31日まで

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予　算	前年度予算	差　異	摘　要
入会金	846,000	828,000	18,000	@3,000円×282名 (2026年度高３)
終身会費	1,974,000	1,932,000	42,000	@7,000円×282名 (2026年度高３)
名簿売上代	30,000	3,830,000	△3,800,000	@6,000円×５冊
預金利息	30,000	6,000	24,000	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	1,200,000	200,000	1,000,000	2025年度同窓大会余剰金　他
事業基金引当特定資産 からの繰入収入	0	5,000,000	△5,000,000	
小　計	4,080,000	11,796,000	△7,716,000	
前年度繰越金	40,804,902	38,500,443	2,304,459	
収入の部　合計	44,884,902	50,296,443	△5,411,541	

(支出の部)　(単位：円)

科　目	予　算	前年度予算	差　異	摘　要
事業費	2,240,000	2,200,000	40,000	
激励費	500,000	500,000	0	全国大会出場選手等への激励費
同窓大会補助金	200,000	200,000	0	2026年度同窓大会補助金
卒業記念品料	720,000	700,000	20,000	卒業記念品
その他の事業費	820,000	800,000	20,000	会報誌3,000部　他
業務費	1,875,000	1,880,000	△5,000	
会議費	575,000	550,000	25,000	会議代(６月合同・９月・ ３月合同)　他
通信費	450,000	500,000	△50,000	電話代・切手ハガキ代・宅急便代　他
慶弔費	200,000	180,000	20,000	同窓会支部総会祝金・永年勤続表彰　他
諸費	650,000	650,000	0	支部助成金・支部総会出席者旅費補助 封筒代・印刷代・事務用品　他
その他の支出	282,000	276,000	6,000	
連合分担金	282,000	276,000	6,000	@1,000円×282名 (2026年度高３)
特別事業費	0	5,000,000	△5,000,000	
300周年同窓大会 特別企画運営費	0	5,000,000	△5,000,000	
予備費	500,000	2,000,000	△1,500,000	
小　計	4,897,000	11,356,000	△6,459,000	
次年度繰越金	39,987,902	38,940,443	1,047,459	
支出の部　合計	44,884,902	50,296,443	△5,411,541	

(注)
１．△は前年度予算に比べ、減少を示す。
２．昨今の物価高騰等を考慮し、必要な科目の予算額を増額しており、2025年度３月幹事会審議にて、承認済み。

修道学園（中・高）同窓会 新役員

任期：2026（令和８）年４月１日～2029（令和11）年３月31日まで

名誉会長・会長・副会長

職　名	名　前	卒業回数
名誉会長	大下　龍介	高７
〃	髙木　一之	高10
〃	深山　英樹	高12
会　長	迫谷　　章	高22
副会長	貫名　　賢	高14
〃	伊藤　學人	高20
〃	廣谷　　清	高28
〃	中村靖富満	高30
〃	鵜野　徳文	高33
〃	大方幸一郎	高38
〃	田戸　　亨	高40
〃	貞徳　伸治	高42
〃	緒方　直之	高44
〃	三宅　泰雄	高48
計	14名	

幹事

名　前	卒業回数	正副
佐伯　正司	高５	正
鵜野　俊雄	高６	正
本西　文雄	高６	副
大下　龍介	高７	正
山下　　泉	高７	副
大塚淳八郎	高８	正
叶原　一然	高８	副
折出　郁三	高９	副
横田　　守	高９	正
池本　　章	高10	副
髙木　一之	高10	正
岡野紀代司	高11	副
久保田喜之	高11	正
深山　英樹	高12	正
藤原　泰治	高12	副
山本　繁生	高12	副
猫本　幸雄	高13	副
山根　恒弘	高13	正
大岡　征武	高14	副
貫名　　賢	高14	正
静川　　周	高15	正
加藤　和行	高16	副
万代　　峻	高16	正
今井　誠則	高17	正
森本　　訓	高17	副
笹野　正明	高18	正
三村　邦雄	高18	副
竹島　哲郎	高19	副
山本　　一	高19	正
伊藤　學人	高20	正
二森　　寛	高21	副
藤居　道正	高21	正
河口龍太郎	高22	副
迫谷　　章	高22	副
辻井　正典	高22	正
佃　　政治	高23	副
中本　高明	高23	正
下田　保清	高24	副
船倉　智雄	高24	正
佐伯　正道	高25	正
佃　　良和	高25	副
土屋　博行	高26	副
森上　忠信	高26	正
冨田　恵治	高27	副
福原　俊二	高27	正
沖野　恒巳	高28	副
廣谷　　清	高28	正
三浦　靖彦	高29	副
和田　章宏	高29	正
中村靖富満	高30	正
松井　直也	高30	副
本藤　　修	高30	副
久保田貴八郎	高31	副
豊田　章宏	高31	正
新藤幸次郎	高32	正
諏訪　昭浩	高32	副
鵜野　徳文	高33	副
佐々木　明	高33	正
川崎　博行	高34	正
湯崎　俊彦	高34	副
井上　　徹	高35	正
友廣　和照	高35	副
大内　茂稔	高36	正
海生　知亮	高36	副
久保　康治	高37	正
下川　純二	高37	副
大方幸一郎	高38	正
筒井　直樹	高38	副
北村　直幸	高39	正
栗田　英樹	高39	副
田戸　　亨	高40	正
藤野　　亮	高40	副
西田　天次	高41	正
桝本　純也	高41	副
貞徳　伸治	高42	副
佐野　　智	高42	正
下郷　荘平	高42	副
旦　壮之助	高43	副
西尾　尚士	高43	正
浅川　智洋	高44	副
緒方　直之	高44	正
田中健太郎	高45	正
伊藤　智宏	高46	副
谷口　佳陽	高46	正
上垣内祐輔	高47	正
野口　隆志	高47	副
高本　和也	高48	副
三宅　泰雄	高48	正
河野　修蔵	高49	副
堂本　英伸	高49	正
小川　文象	高50	正
山村　和人	高50	副
名和原　寛	高51	副
森野　貴雅	高51	正
田村　勇太	高52	正
安本　芳朗	高52	副
赤羽隆太郎	高53	副
大辻　健介	高53	正
内藤　貴明	高54	正
浜中　孝喜	高54	副
猪花　祥雄	高55	副
越智　基匡	高55	正
池田晃太朗	高56	副
佐々木　雄	高56	正
石徳　優季	高57	副
杉田　卓也	高57	正
金谷　将明	高58	正
保田　大輔	高58	副
昌子　佳晃	高59	正
長谷川貴大	高59	副
中川　　晃	高60	正
三浦　基嗣	高60	副
鶴　健太郎	高61	副
宮地　翔矢	高61	正
小羽田浩志	高62	副
八垰　宏陽	高62	正
門田　拓海	高63	副
田村　應崇	高63	正
水口　雄矢	高64	副
渡辺　琢水	高64	正
川崎　彰仁	高65	正
近村　健太	高65	副
宅見　優佑	高66	副
塚本　晃斗	高66	正
久保　　誠	高67	正
佐々木啓人	高67	副
計	126名	

監査

職　名	名　前	卒業回数
監　査	中島　弘規	高33
〃	黒木　敬介	高39
〃	平岡　康治	高44
計	３名	

会誌名簿委員

職　名	名　前	卒業回数
委員長	田戸　　亨	高40
副委員長	三宅　泰雄	高48
委　員	筒井　直樹	高38
〃	西村　昌浩	高39
〃	濱田　　茂	高49
〃	越智　基匡	高55
〃	中川　　晃	高60
担当副会長	大方幸一郎	高38
顧　問	中村靖富満	高30
計	９名	

事務局だより

昭和33年３月卒（10回卒）以前の写真を求めています。

2025年に創立300周年を迎えた修道中学校・修道高等学校では、次の100年に向け、これまでの記録を長く後生に伝えんがため、現在、所蔵資料の整理確認と、紙資料のデジタルデータ化事業を進めております。

① 卒業アルバム

本校に残ります写真のデータ化を中心に作業を急いでおりますが、残念なことに、昭和33年３月卒業（高校10回）以前の卒業アルバムが残されておりません。

つきましては、高校10回卒以前の卒業アルバムを一時本校に預けてもよいとおっしゃる方を探しております。お預かりしたアルバムは大切に保管し、デジタルデータ化後（約１年ほど時間をいただくことになります。）にご返却いたします。お志のある方がいらっしゃいましたら、下記「修道学園（中・高）同窓会事務局」までご連絡ください。

② その他写真

卒業アルバムに限らず、修道中学校・修道高等学校に関わる古い写真を求めております。お送りいただいた写真は、デジタルデータ化し、インターネット上で皆様に閲覧していただけるようアーカイブ化していく予定です。

【ご注意】

1. お送りいただいた写真はご返却できません。デジタルデータ化の後、本校にて丁重に保管させていただきますので、ご了解いただける場合のみご送付ください。
2. デジタルデータは、修道中学校・修道高等学校の歴史を広くご覧いただく目的で将来公開していく予定です。公開にご了解いただける場合のみご送付ください。
3. できましたら、写真の説明（撮影年代、状況の説明など）を同封いただけると助かります。

何とぞ趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

住所変更手続きのお願い

会員の方で住所・電話番号・勤務先・メールアドレス等変更になった方は、変更手続きをお願いします。

変更手続きは、修道学園（中・高）同窓会のホームページに掲載されております、同窓会事務局宛のメールアドレス宛に変更をご連絡いただくか、または同窓会名簿内の添付はがきで、同窓会事務局までご連絡ください。電話・ＦＡＸでも結構です。ご協力をお願いいたします。【本ページの下部を参照ください。】

【訃報】修二会よりお知らせ

修二会（高校第２回卒業）の下村幸男様ならびに永谷道孝様が、ご逝去されました。

下村様におかれましては、長く修道学園（中・高）同窓会及び修道学園同窓会連合会の幹事を務めていただくとともに、サッカーを通じて母校および本同窓会と深く交流を続けてくださいました。また、現役の中学２年生を対象とした平和学習において、被爆体験の語り部として、長年にわたり貴重なお話を届けてくださいました。

永谷様におかれましては、昭和35年４月に修道学園同窓会の幹事に就任され、副会長を３年間務められた後も、長年にわたり幹事として同窓会の発展に多大なるご尽力を賜りました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



2025年8月6日　修道中学校・修道高等学校　原爆慰霊祭
故下村様（左）・折出眞喜男様（中央上）・故永谷様（右）

ご注意

本同窓会の名をかたって名簿を販売するケースが頻繁に起こっています。不審なハガキや電話等にはお答えにならないようお願いします。同窓会が名簿を発行する場合は、必ず同窓会長名で調査を行います。

修道学園（中・高）同窓会事務局

〒730-0055　広島市中区南千田西町８番１号
TEL（082）241-6686　FAX（082）249-0870
E-mail：dosokai@shudo-h.ed.jp